



# 創立80周年東京都 小学校体育連盟会報



東京都小学校体育連盟 令和7年度 第2号 令和8年3月発行

事務局：東京都日野市三沢200 日野市立日野第八小学校 TEL 042-591-2411



## 多様なニーズに応じて

東京都小学校体育連盟  
理事長 船山 徹

創立80周年を迎え、本連盟は、これからの10年に向けて、新たな一步を踏み出しました。私たちは、時代の変化を注視しつつ、都内の教職員の皆様の「豊かなスポーツライフの実現」に向けて歩みを進めてまいります。

さて、次期学習指導要領に向けた検討の中でも、「多様性」がキーワードの一つとなっています。「スポーツの楽しみ方」を窓口と考えたとき、スポーツに対する価値観やスポーツをする意義、楽しみ方は一人一人によって異なります。私たちは、本連盟が主催する各種大会への教職員の皆様の期待を受け止め、スポーツ活動への多様なニーズに応えることができるよう、試行錯誤を繰り返し、各種大会等の実施方法を工夫しています。その中で、様々な形でスポーツを楽しむ皆様の姿に出会うことができました。

バレーボールやサッカー大会では、優勝を目指して、選手・ベンチ・応援のすべての関係者が一体となり、チームに愛着を感じ、その一員であることに誇りをもって試合に臨む姿がありました。野球やバスケットボール「フレンドリーシップマッチ」では、仲間とともにプレーを楽しみたい方が集まり、真剣さと微笑みが同居した心温まるシーンがありました。水泳や陸上記録会では、選手を応援するご家族の姿、ピットに立つお母さんに水を運ぶお子さんの姿にも出会いました。卓球、バドミントン、テニス大会では、1回戦・2回戦のアットホームな雰囲気を楽しむ姿から、次第に勝敗の競い合いを楽しむ雰囲気へと変化していくストーリー性を感じました。審判講習・実技研修会では、自分のパフォーマンスを高め、子供への指導に生かそうと、講師に学ぶ熱心な姿がありました。そして、どの会場にも、これらを支える運営スタッフの皆さんの献身的な姿がありました。

本連盟は、このように、都内教職員の皆様が、多様な楽しみ方でスポーツに親しむことができる場づくりを追求し続けてまいります。各種大会への参加及び大会の運営について、皆様のご協力をお願い申し上げます。



## 創立80周年記念大会の 運営に当たって

運動・調査部長  
角田 成隆

「創立80周年記念」として実施した令和7年度の事業も各種目の大会を順調に行うことができました。各運動専門部の役員の方々をはじめ、各地区の体育部長、専門委員の方々など、大会運営にご尽力をいただきました多くの皆様に心より感謝申し上げます。誠にありがとうございました。今年度、全ての種目の開催に関わらせていただいたことで、本当に多くの皆様に支えていただいていることを改めて実感しました。

12月に刊行された「創立80周年記念誌」には、各部の「この10年の歩み」が刻まれています。コロナ禍の2年間の完全休止があり、昭和から平成へと受け継がれてきた運営方法は変わりましたが、状況に応じた工夫を重ねながらアフターコロナの運営方法が定着してきました。優勝地区を決めるチャンピオンシップ型、より多くの地区・教職員が参加できるフレンドシップ型。また、指導者講習会、実技研修会、審判講習会など、子供たちの指導につながる取組も行われています。いずれも参加者の多様なニーズに応えられるよう、そして、「これからの10年」を見据え、持続可能な運営方法を工夫して行われたものです。

更なる周知拡大を図るため、今年度は小体研ホームページ内「小体連より」の活用を進め、チラシを掲載していただくなど、内容の充実にも努めました。参加者を増やし、運営に関わる方を確保することは、多様なニーズに対応可能な運営の実現にもつながります。今後も引き続き事業の周知拡大に努めてまいります。

「東京都小体連・小体研 讃歌」において、小体連は「明日の生きがい」であり「明日の喜び」であると歌われています。小体連に参加し、仲間と共に運動に親しむことは、人間関係を豊かにし、教員生活の喜びや生きがいにもつながる、価値あるものであると考えます。若い先生方、そして、これから先生になる方々へも、大切につないでいきます。



掲載の二次元コードから、動画メッセージをご覧いただけます。



## 80周年記念事業を終えて

80周年記念事業実行委員長  
山下 靖雄

ないでいく出発の機会としていくことでした。たくさんの方々の懐かしい笑顔に出会えた一日となりました。このことは主催者として喜ばしい限りで、幸せな時間を過ごすことができました。役職定年を迎えたこの年に素晴らしい仲間と共に創造性に満ちた記念事業を推進することができたことは私の一生涯の宝物となりました。これからもこの歴史と伝統のある本連盟が時代のニーズに機微に対応し、多様性を包摂する教職員のスポーツ大会運営や関係する皆様のウェルビーイングにつながっていく機会を創出する組織として益々発展していくことを心より期待しております。「明日の生きがい小体連、明日の喜び小体連」という私たちの大切な理念を常に心の中にもち、後継の皆様にはこの組織を受け継いでいただければ幸いです。

結びに80周年記念事業推進にあたり、協賛会会長をお務めいただきました藤崎敬先生、御支援・御指導を賜りました菅原健次OB会長、協賛会の趣旨に御賛同いただき、多大なる御支援をいただきました東京都小学校体育OB会の皆様方に心より御礼を申し上げます。引き続き、これからの本連盟の発展を見守っていただき、共にその歴史を刻んでいただきますようお願いいたします。なお、当日の式典・祝賀会の様子は以下のQRコードから視聴いただけます。



## 【今年度の取組・来年度に向けて】

### 陸上部

部長 府金 博之

11月3日(月)、帝京科学大学の陸上競技場をお借りして、指導者講習会と陸上記録会の2部構成で実施しました。講習会では、東京陸上競技協会の講師の先生から短距離走と走り高跳びについて、明日から使える指導のポイントを実技を交えながら教えていただきました。後半は、50m、100m、1000m、走り幅跳び、走り高跳びの記録会を行いました。前半の講習で教わったことも活かしながら、迫力ある走・跳の動きを見ることができました。以前のような大規模な競技会を行うには、競技場と補助員の確保という課題がありますが、「教員の实技指導力の向上を図ること」を目標に、多くの方が陸上競技の楽しさが味わえる方法を検討していきます。

### 野球部

部長 清水 晃

今年度も野球大会は、チャンピオンシップではなく、たくさんの方々の先生方に上井草球場での野球を楽しんでいただきたいという思いから、各ブロック2代表、16チームによる対抗戦を2日間にわたって開催しました。1日目は曇り、2日目はあいにく小雨の中での試合となりましたが、どの試合も白熱した熱戦が繰り広げられました。近年の猛暑で秋の学校行事が後る倒しになり、10月の土曜日に選手を集めるのにも苦労される地区も多くなりましたが、来年度もたくさんの方々に野球を楽しんでいただけるようにしていきたいと思っております。

小体連野球の聖地、上井草球場でお会いしましょう。

### 水泳部

部長 岩澤 肇

本年度も、立教学院新座セントポールズアクアティックセンターにて水泳大会を実施することができました。当日は三連休の中日ということもあり、26地区190名(男子135名、女子55名)の参加は、昨年度比の増加とはなりませんでしたが、しかし、参加の各地区の皆様のご熱意がみなぎる大会となり地区対抗の優勝は、男子は足立区、女子は杉並区という結果となりました。気候や会場確保の関係で、各競技が開催日程を試行錯誤している中で、水泳競技としては、日時と会場を9月第2日曜日、立教プールとしっかりと固定化することで、来年度も各地区でたくさんの方々の参加者を募っていただける環境を整えていきます。

### バスケットボール部

部長 齋藤 恵

バスケットボール部では、前年度各地区の専門委員にアンケートを行い、実施方法を運営委員で協議し決定しています。ここ数年は、チャンピオンシップとフレンドシップを選択できるようにし、どの地区も2試合行えるよう調整しています。本大会は、教員のための研修会として、経験・未経験問わず参加できるようにすること、バスケットボールの楽しさを味わえるようにすること、そして大会を通して各地区内外の交流を深めることを目指しています。また、専門委員会をオンラインで行うことで、区部・市部・島しょの参加をしやすいしました。大会の他に、審判講習会、実技研修会、さらに大会後は希望者を募り交流会を実施しました。

## 🏐 バレーボール部

部長 濱中 一

本年度もチャンピオンシップトーナメント形式で、7月大会、10月女子大会を行いました。各地区体育部長、専門委員をはじめ、関係の方々、ありがとうございました。

コロナ禍による大会中止後は、参加チーム数の減少が懸念されましたが、各地区での専門委員を中心としたご尽力により、今年度はほぼコロナ禍前と同じ参加地区数で大会を行うことができました。ルールも工夫し、教職員同士が職場を越えたつながりを持ち、生涯にわたってスポーツに親しむ楽しさ体験の場としてのバレーボール大会を提供できたことは、今年度の大きな成果と考えています。

令和8年度も、仲間とのつながりを大切に、歴史を紡いでいきたいと思えます。

## ⚽ サッカー部

部長 川口 周作

男子の部は、8月末からの地区予選から始まり、12月21日の中央大会決勝まで実施しました。今年度から、12月中の中央大会実施となりましたが、各地区専門委員の多大なる協力によりスムーズに日程進行ができました。近年、予選会場も人工芝のグラウンドが増え、先生方のやる気と個人技能の発揮ができる大会になっていると感じています。また、今年度、10年ぶりに東京学芸大学のグラウンドを利用して中央大会の決勝ができました。女子の部は、1月25日開催予定。サッカー部主催であるシニアやミドルの部は、「生涯スポーツ」と「仲間とのつながりを大事にする」のスローガンのもと、1月と2月に実施しています。

## 🏸 バドミントン部

部長 藤山 由仁

今年度バドミントン部は、2点の改革を進めました。行いました。①怪我を防ぐため開催時期をこれまでの2月から7月へ変更。②意見は多々ありましたが、ミックスダブルスを女子ダブルスに変更したことの継続。変更に関しては様々ご意見もあるでしょうが、持続可能かつ、さらに大会を発展させるものと確信を深めています。

多様な教職員の皆様とともに、変化をむしろ楽しんで運営も挑戦していく。スポーツの目指す姿を我々運営側もすすめていきます。大会開催のために、多くの教職員の皆様にご協力頂きました。すべての先生方に厚く御礼申し上げます。

## 🎾 ソフトテニス部

部長 吉田 松寿

10月12日に八王子市松木公園テニスコートにて、久しぶりに一堂に会してチャンピオンシップで大会を行いました。17地区とオープン参加の1地区を合わせた18チームでリーグ戦形式による予選と予選1位地区によるトーナメントを行いました。当日は好天に恵まれ、絶好のテニス日和でした。素晴らしいプレーも多く見られました。

コロナ禍前最後の大会では32地区が出場していました。そのときと比べて半分程度の参加数となっています。各地区の専門委員から人数集めに苦慮していると聞いています。個人参加の受け入れもしています。地区だけではなく、地区を跨いで声を掛け合いながら参加者が増えていくことを期待しています。

## 🏓 卓球部

部長 高橋 伸嘉

1月25日(日)、板橋第一小学校の体育館を会場に、20地区28チームが参加して熱戦が繰り広げられました。参加数が昨年度よりも6地区11チーム増え、会場の熱気もより一層高まった中で80周年の記念大会を行うことができたことは大変嬉しいことでした。チーム数増加に合わせて予選、決勝リーグの方法を工夫して行った結果、今年度も「スポーツを通して交流する」という本来の目的を全うしながらも、チャンピオンシップを競う形で開催することができました。今年も会場が熱気とともに多くの笑顔と和気あいあいとした雰囲気にも包まれました。先生方が卓球を楽しみ、卓球を通して交流を深める心地よさと喜びを強く感じた一日となりました。



## 〔副理事長より〕

副理事長 佐藤 洋士

昨年度に引き続き、今年度も全ての運動領域で大会等を実施することができました。特に本年度は、小学校体育連盟創立80周年記念大会と位置付け、各運動部が記念大会のリーフレットを作成するなどして記念大会を盛り上げていただきました。

記念大会の実際では、はつらつとプレーする選手の姿、他地区の先生方同士が交流する様子の爽やかさなど、スポーツのもつ魅力と素晴らしさを改めて感じました。

各運動部長を中心とする関係の皆様が、コロナ禍以降、開催方法や実施方法の工夫と見直しを続け、小体連の目的である教員の実技指導力の向上等を図るなど、豊かなスポーツライフの実現に向けての活動を途絶えることなく続けてくださいました。そのことが、本年度の記念大会の開催につながったものと確信しています。ご尽力くださいました全ての関係の皆様に、この場を借りてお礼申し上げます。誠にありがとうございました。

来年度からも90周年に向けて、引き続き皆様のお力添えをお願いいたします。

## 〔庶務部より〕

庶務部長 江口 千穂

庶務部では、年3回の理事会の運営や、体育連盟及び体育研究会の事業内容・組織について要覧・名簿にまとめる事務を行っております。各地区の体育部長を始めとする体育部員の皆様には、ご理解とご協力をいただきありがとうございます。

理事会では各回テーマを設定し、ご参会の皆様と協議する時間を設けました。各地区での取組や課題等についても、活発な議論や意見交流を行う様子がたくさん見られました。各地区の情報を共有し、皆様との絆を強め、学びの機会としていただけましたら幸いに存じます。今後も東京都及び各地区の体育部の活動がますます発展していきますよう、理事会の充実を図ってまいります。

年度末の3月、大変お忙しいこととは存じますが、各地区体育部長の皆様には令和8年度の要覧及び名簿づくり、各地区での新しい組織における引継ぎ等にご協力くださいますようお願いいたします。

## 〔会計部より〕

会計部長 難波 誠二

会計部では、各地区からの連盟費の徴収等を踏まえて、各運動専門部の活動費に係る予算交付等の支援を行っています。

令和7年度連盟費納入に当たり、区市町村教育委員会、地区校長会、地区教育研究会体育部の皆様には多大なるご理解とご協力をいただきましたことに、心より感謝申し上げます。

今年度も各運動部で工夫した大会運営や実技研修の実施などを行っていただきました。チャンピオンシップの大会、フレンドシップの大会、実技研修会を伴った大会等、バラエティに富んだ小体連大会を運用していただいております。今年度も各運動部においては活動費の使い方を工夫しながら、円滑な運営をしていただきましたことに感謝申し上げます。また、各区市町村の専門委員の皆様にも心よりお礼申し上げます。

会計部では、今後も各地区からいただいた予算の有効活用を図り、小体連各大会等の活動がさらに充実したものになるよう支援してまいります。



## 【各地区の運動競技等の結果】

### 大田区

体育部長 中村 一裕

大田区は、小学校59校、220人の部員で活動しております。

研究は、年度初めの模範授業を皮切りに、4領域が1回ずつ、計4回の授業研究に取り組んでいます。その他に、初任者のための水泳実技講習会、夏季実技研修会、こども駅伝大会の運営などを行っています。

都小体連のスポーツは、水泳、陸上は大会前、その他の種目は一年を通じて練習会を実施しております。混合、女子の両方で連覇を達成したバレー部をはじめ、各部が都小体連大会の優勝を目指して、老若男女、経験の有無に関係なく、団結して活動しております。学校対抗は、バレーボール、バドミントン、テニス、卓球を行っています。今後も、部員及びスポーツ愛好者で研究、研修、スポーツに励んでまいります。

### 渋谷区

体育部長 河口 尚志

渋谷区は小学校18校、体育部員45名で組織されています。今年度は研究主題を「児童一人一人が、自らの学びを深める体育学習」とし、「児童が自らの学習を調整して、学びを深めていく力」の育成を目標に研究を進めてきました。年間に1本の示範授業(体づくり運動)と3本の研究授業(体づくり運動、ボール運動「バスケットボール」、器械運動「跳び箱運動」)を行い、児童の資質・能力と教員の授業力の向上を図っています。

区内のスポーツ大会では、バレーボール大会を開催し、区内小学校の親睦を図りました。また、都小体連主催の大会では、各専門委員が中心となり、サッカーや野球、バレーボールをはじめ様々な種目に参加しました。今後も体育科の授業力向上と生涯にわたる豊かなスポーツライフの実現を目指していきます。

### 杉並区

体育部長 伊藤 友香

本区は41校、体育部員160名で活動しています。

学校対抗スポーツでは、バレーボール・バドミントン・卓球を参加希望校で行っています。分区の親善が主な目的ですが、昨年度からはチャンピオンシップも再開しました。より多くの職員が参加できるように選手交代を柔軟に行ったり、対戦校と相談してペア数を増やしたりできるようにルールを工夫しています。小体連のスポーツ大会にも毎年全種目に参加しています。中央大会出場する種目も多く、各部ともに切磋琢磨して力を高めています。今後も、職員の交流を深め、研究、運動、ともに、若手とベテランが連携して体育部を盛り上げていきます。文武両道の杉並の伝統を大切にして、体育部の活動を充実させていきたいと考えています。

### 荒川区

体育部長 船木 裕介

荒川区では、24校・67名の体育部員が研究の推進や運動競技の運営に取り組んでいます。今年度は研究主題を「運動の『楽しさ』を味わう児童の育成」とし、「児童の豊かな関わり合い」を大切にしながら、生涯にわたり運動に親しむ力の基盤づくりを目指しています。

学校対抗スポーツでは、バレーボール・バドミントン・卓球の3種目を開催し、交流とチャンピオンシップを選択できるようにしています。体育部以外の教員も参加し、スポーツを通じて教職員同士の親睦を深める場ともなっています。また、小体連主催の大会では、体育部を中心に各専門委員が練習や参加を積極的に呼び掛けています。小規模地区の利点を生かし、教員同士のつながりを強め、運動を通して荒川区を盛り上げていきます。

### 八王子市

体育部長 堀河 健吾

八王子市は、小学校69校、義務教育学校1校、153名の体育部員で活動しています。

本年度は、ボール運動系領域の研究を進めてきました。実技研では、講師の先生よりアダプテッドゲームを教えていただき、体育科の学びを多角的に捉える機会をもちました。

市内のスポーツ交流会では、「バレーボール」「ソフトボール」「テニス」「バドミントン」「卓球」の5種目を行っています。市内各校の親睦を深めるとともに、教職員の豊かなスポーツライフの実現に寄与しています。また、小体連主催の大会でも、専門委員が中心となり全ての種目に参加しました。

今後も、「チャレンジの八王子」で研究にも運動にも取り組んでいきます。

## 府中市

体育部長 松下 雄太

府中市は小学校22校で、現在体育部員78名が所属しております。

体育科の指導力向上のため、令和5年度から研究主題を「主体的・対話的で深い学びを実現する児童の育成」とし、「主体的」「対話的」「深い学び」のキーワードを1年ごとに重点的に研究しています（3年計画）。市内を3つのエリアに分け、研究領域を「ゲーム・ボール運動領域」と限定し、研究を進めています。

学校対抗のスポーツ大会は「バレーボール」のみですが、スポーツを通して市内教員相互の親睦と交流を図り、選手も応援も盛り上がり楽しく活動しています。また、各都小体連主催大会については、各専門委員が中心となって、参加者を集め、練習会を企画して、子供の前に立つ教員自身が「豊かなスポーツライフ」を体現しています。

## 小金井市

体育部長 石塚 保章

小金井市には小学校が9校あり、体育部員は30名が所属しています。体育学習の指導力向上に向け、都小体研の研究テーマに基づいて研究を進めています。

昨年度、市内で行った研究発表での成果と課題を受け、今年度は器械運動領域で研究を進めています。3年生のマット運動と跳び箱運動で実施した研究授業においては、講師に都小体研器械運動部でご活躍されている先生を招き、学んだことを各校へ還元できるよう各部員が研鑽に励んでいます。

また、市内各校のスポーツ交流として、1学期にバレーボール、2学期にバドミントン、3学期に卓球を実施しています。教員も児童も運動に親しみ、豊かなスポーツライフを営めるよう努めていきます。

## 狛江市

体育部長 鷲見 真太郎

狛江市には6校の小学校があり、体育部には29名在籍し、研究の推進、運動競技、体育的行事の充実に向けています。本年度は、研究主題を「どの子も楽しんで運動に取り組もうとする体育学習～教師の働きかけを通して～」とし、特に学習活動中の教師の関わりに重点をおいて領域を絞らずに3つの部会に分かれて、研究を進めてきました。言葉掛けの精選や教師の動き、児童の見方など基礎から見直すことができました。

市内でのスポーツ親睦交流は、1学期にバレーボール、2学期にバドミントンを実施しました。都小体連関係のスポーツでは、バレーボール、野球、サッカー、テニス、バドミントン、バスケットボールに参加しました。小さい市ですが声を掛け合い、交流しながら、児童に還元できる活動を今後も大切にしていきたいと思えます。

## 東大和市

体育部長 田端 正宏

東大和市は10校の小学校、28名の体育部員が所属しており、2つの分科会に分かれて、研究、小体連の運動競技の運営や活動を行っています。小体連の運動競技においては、体育部のメンバーが取りまとめ役になり、各運動に参加しています。学校対抗は、バレーボール、バドミントン、卓球の3種目を行い、優勝校が学校対抗の大会へと駒を進めます。優勝校を除く市内10校のメンバーで選抜の大会にも参加します。今年度はバレーボールの学校対抗に参加しました。小体連の運動競技では、野球・サッカー・バスケットボールへの参加をしています。昨年度、水泳の大会にも運営として参加しました。野球・サッカーは、決勝への進出を果たし、盛り上がりを見せました。市の研究が「ボール運動領域」なので、実技研修会を兼ねて、運動部の底上げにも力を注いでいます。

## 東久留米市

体育部長 永瀬 功二

東久留米市は小学校が12校あり、体育部員31名を中心に、研究や教職員スポーツを推進しています。研究では、今年度は器械運動を研究領域として、都小体研器械部より講師を招いて年間3回の授業研究や実技研修等を通して授業改善に取り組んできました。

教職員スポーツでは、学校対抗としてバレーボール・卓球・バドミンントンの3種目を行っています。チャンピオンシップ形式で行いながらも、学校内や市内の学校同士で親睦を深めることを大切にし、和気藹々と行っています。小体連主催の大会では、できるだけ多くの種目に参加しようと各種目の専門委員が積極的に声を掛け、昨年度は9種目中7種目に参加することができました。今後も市内の先生方の交流を大切にし、特に経験年数の少ない先生方に、研究やスポーツの楽しさを感じてもらえるように工夫していきます。

御覧いただき、ありがとうございました。本会報の今後の編集に生かすため、右の二次元コードからアンケートにお答えいただき、御感想や御意見をお寄せください。

どうぞ、よろしく願いいたします。

